

第2022回埼玉県教育委員会定例会議事録

1 日 時 令和8年1月22日（木）

午前10時開会

午前11時34分終了

2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室

3 出席者 日吉教育長、首藤教育長職務代理者、櫻井委員、今井委員、神山委員、小野委員、佐藤副教育長、小谷野教育総務部長、田中県立学校部長、吉田市町村支援部長、案浦参事、塩崎教育総務部副部長、小坂教職員課長、荻原保健体育課長、堀江保健体育課指導主事、阿部小中学校人事課長、向後小中学校人事課管理主幹
平野書記長、高久書記、三橋書記、大久保書記、星野書記、宮井書記

4 会議の主宰者 日吉教育長

5 会 議

(1) 前回議事録の承認

- o 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
- o 日吉教育長が、小野委員を議事録の署名者に指名した。

o 会議を公開しないこととする事項について

日吉教育長が、第2号議案から第4号議案までの審議について、会議を公開しないこととする動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定

o 日程の変更について

日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2) 報告事項

ア 教育職員の給料の調整額に関する規則の一部を改正する規則について

小坂教職員課長（提出理由、専決処理した理由、専決処理の状況、規則の内容について説明）

日吉教育長 改正は4級についてですが、管理職のうち校長を引き上げるということでおろしいでしょうか。

小坂教職員課長 そのとおりです。

イ 「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

荻原保健体育課長（提出理由、「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果、課題及び課題解決に向けた対応について説明）

首藤教育長職務代理人 今年度も、埼玉県の小学生、中学生の体力が全国平均よりも上位にあり喜ばしい結果であると思います。ただ、女子の方が運動習慣は少ないですが全国と比べて得点が高くなっています。男子の方が運動習慣はあるけれども肥満度は高くなっています。その辺の結果をどう解釈すればよいか少し複雑だと思いました。一つ質問ですけれども、運動習慣と運動の好き嫌いについては、具体的にどのような質問項目なのでしょうか。単純に、運動やスポーツをすることが好きですかと聞いているのでしょうか。

荻原保健体育課長 詳細はすぐにお答えできませんが、内容としては、どのような質問です。

首藤教育長職務代理人 そのような質問を投げかけられると、子供は体育の授業で行っている運動をイメージすると思います。例えばストレッチやヨガ、ダンスなど、ダンスは体育で行っていますけれども、それらも運動になると思います。それを子供たちがイメージできるような質問だったのか、運動は多様な経験があると思いますので、それをカバーできるような質問だったのか少し気になります。調査は全国で同じ質問を使わなければいけませんので、埼玉県だけが独自にというわけにはいきませんけれども、運動経験は多様ですので、学校の体育の授業を工夫することで体力をつけようとするだけではなく、調査の目的はもっと広い部

分にあると思います。例えば、家庭との連携が一部含まれると思いますけれども、社会体育の分野とも連携するなどして、多様な運動経験ができるような施策も考える必要があるのかと思いました。

櫻井委員 資料14ページにある分析について、先ほど近年の異常気象という説明がありましたけれども、学校の中には体育館にエアコンが付いている学校と付いていない学校があります。とても暑い中で、多分学校ごとや市町村ごとに基準を決めて、今日は暑いから授業を行わないと決めているようですけれども、その辺り、今後地域クラブ活動への移行について場所を提供するに当たっても、そのような施設が必要だと思います。体育館の冷暖房完備について、何らかの基準みたいなものを示しているのでしょうか。

荻原保健体育課長 基準については、特に体育を行う上でこうしなければいけないというものは現在ではございません。例えば避難所になるところなどで市町村の基準でもいろいろ違いが出てくるところがあろうかと思います。当然空調が付いていない体育館もありますけれども、そのようなところでは、例えば運動について、W B G T（暑さ指数）が31を超えるところでは原則運動禁止ということは共通ですので、そのような場合には運動をやむを得ず中止する場合もあります。その手前のところでは、例えば、クーラーが効く特別教室などを使用して、できる運動をその時間に行う対処をしているところでございます。

櫻井委員 今後も異常気象は続く可能性がありますので、暑いから止めるというよりは、各学校のハード面に沿って、自分たちで工夫してなるべく運動する機会をどうしたらできるのかを考えてもらいたいと思います。先ほど説明があったように、もし危険な場合には、全て統一して今日は止めるということを、各校ともしっかりと決めるように指導をお願いしたいと思います。

神山委員 資料8ページにある肥満度の状況について質問があります。肥満度は、おそらく運動習慣との相関性を見るためにデータを取られているのかと思いますが、実際、全国で研究項目や方法は決められていると思いますけれども、せっかくデータがありますので、実際に運動習慣との関連性があるのか、もしくは別の項目との相関性等を調査するために見ているのか、少し疑問に思いましたので、

もしデータ等がありましたら教えてください。次に、表にもありますけれども、確かに肥満の方が運動習慣との相関性の部分で子供たちの健康という意味では重要だと思いますが、偏食や口腔機能の問題で単純に痩せの方が多いのではないかと認識しています。学校健診、学校医等の意識にもよるとは思いますが、学校健診等で肥満は引っ掛かるのですが、痩せはなかなか顕在化してこない部分もあり、痩せだと体力、基礎体力の部分に関連性があるのではないかと思います。肥満ばかりに注目してしまうと、太ってはいけないなど、子供たちの健康の概念が少し偏りがちになるのではないかと思います。是非、肥満度の状況調査をするのであれば、痩せの方もしっかり調査して、体力や運動習慣とどう相関性があるのかを見ていくと、現場でも子供たちの健康に関して、より良い対策が取れるのではないかと思いました。運動調査とは少し離れてしまうかもしれません、2点についてよろしくお願いします。

荻原保健体育課長 肥満や痩身と体力の関係性につきましては、調査結果もまとめしております、肥満児童については、他の児童に比べて体力合計点が低い傾向が確認しております。体力合計点が高いのは普通体形ですけれども、痩せの児童については普通体形に比べて体力合計点は低いけれども、痩せていればいるほど低くなるものではないという結果が確認しております。次に、肥満と痩せの運動好きとの関係性についてですが、肥満傾向児は運動が嫌いと回答する割合が、普通体形や痩せている児童生徒よりも高い傾向があると確認しております。

神山委員 おそらく運動習慣や体力と肥満度との相関性が痩せより強いので、こちらのデータだけが注目されてしまっていると思います。今回は体力調査がメインのため致し方ないと思いますけれども、子供の健康全体としては両面からの確認が必要かと思いましたので、よろしくお願いします。

今井委員 資料20ページにある体力プロフィールシートは、埼玉県が独自にしているものだと思います。工夫として、前年度の記録を基にした目標値よりも良くなったらコバトンのマークが付くことはもちろん良いと思いますけれども、アドバイスのところについて、多分業者が統計的に作られていると思いますが、どのようにシートに反映しているのでしょうか。個々のアドバイスは定型文を当て

はめているのでしょうか。なぜそれを思ったかと言うと、例えば運動に対してもっと楽しく運動ができるようなアドバイス、食事が終わったら、給食を食べたら少し歩きましょう、家族でこれを行いましょうなどの一言がほしいと思います。こちらのアドバイス結果だけを見ると、自分は運動が苦手だと思ってしまう子供がいると思います。結果の良い子供は自己満足で良かったと思うかもしれませんけれども、結果が悪くても来年度頑張っていこうと思えるような何か一言が必要なのではないかと思います。今、A Iなどはとても上手に励ましてくれますので、こちらのアドバイスも結果だけではなく、子供たちが体を動かそう、体を動かすことによって自分はもっと健康になれるというアドバイスも頂きたいと思いました。

堀江保健体育課指導主事 委員からの御指摘がありましたように、内容につきましては業者に委託をしておりまして、この後、検討する段階です。

今井委員 是非来年のコメントを楽しみにしておりますので、よろしくお願ひします。

小野委員 資料5ページからの全体の体力合計点について、正に資料にあるように合計点というところでは、埼玉県は全国順位からもグラフから見ても、平均をとても上回っているというふうに理解可能かと思います。一方で、日常的な運動習慣に結び付けていくときに、項目によっての違いをもう少し明らかに、握力や上体起こしなどと柔軟性や敏しょう性などの各項目が、全国と比較したときにどのようにになっているのかが分かると、各委員が先ほどからおっしゃっているように、より一層日常的な運動習慣に結び付けていくときには重要になるかと思います。分析もされていると思いますけれども、その辺りが明らかになっていくと、習慣と結果が結び付いてくる、あるいは資料の最後にあるワークシートにもつながる、そのように感じました。

日吉教育長 いろいろと示唆に富んだ重要な御意見を頂いたと思います。大きくデータの分析の仕方、もう少し解像度を上げて多角的な視点から見ていくという御指摘だったかと思います。また、結果の活用について、確かに他人との比較もあると思いますけれども、過去の自分との比較など、どのぐらい自分が伸びたの

かも含めて評価をすると、より運動好きな子供が増えていくのかと思いますので、是非参考にしていただければと思います。

(3) 次回委員会の開催予定について

2月5日（木）午前10時

<非公開会議結果>

議事

第2号議案 教職員の懲戒処分について 上程

非違行為を行った川口市立柳崎小学校の男性助教諭（28歳）に対して、戒告する懲戒処分を決定しました。

第3号議案 教職員の懲戒処分について 上程

非違行為を行った加須市立志多見小学校の男性教諭（37歳）に対して、1月間停職する懲戒処分を決定しました。

第4号議案 教職員の懲戒処分について 上程

非違行為を行った西部地区の公立中学校の男性教諭（36歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。